

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校第2		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせたオーダーメイド療育	個別療育は、お子様の成長や変化に気づきやすい環境にあると思います。 成功体験の積み重ねが、お子様の自己肯定感や意欲の向上に繋がるよう、関わり方を心がけています。	一人ひとりの特性を理解し、それぞれにあった目標設定をしていく。スモールステップを意識し、達成感を味わえるようにする。
2	小集団療育の実施	就学前限定実施でのグループ療育を実施しています。早期療育の観点、集団での気づきを個別療育でしっかりサポートすることが出来ます。園という大きな集団ではなく、小グループの中で自信をつけて、出来ることの幅を広げていくことを目的としています。	年齢別にグループ活動を行うことで、より集団への順応力を高めていく。また特に年長クラスの保護者向けへの研修、交流会を定期的に行ったりと保護者支援も力を入れていく。
3	保護者との密なコミュニケーション	事業所に足を運んでいただくことで、スタッフと顔を合やす機会も増え、相談や情報共有をしやすいという声をいただいています。 また、自由に活動を見学いただくこともできますので、ご本人との関わり方や、成長と一緒に共有いただけます。	短時間であってもお子様の様子をしっかりと伝えつつ、寄り添う姿勢を忘れないこと。支援見学等を通してご家庭でできることを伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流の場が少ないこと	送迎がなく、保護者が迎えに来るので設定しやすい環境は作りやすいが、療育時間も1時間で短いので機会を設けにくい。	教室運営の年間スケジュールなどに組み込む工夫が必要である。学期ごとにテーマや参加対象を精査し計画を立てること。
2	個室のスペースが十分でない	個室の方が利用児童の特性上のあっているが、活動のスペースが十分ではないこと。 机や椅子を置くと課題が限れてしまうこと。	利用時間の調整をはかる。具体的には児童発達支援の児童が利用する時間は、スペースが確保できる時間を案内する。
3	防災訓練実施状況、マニュアル等の存在があまり周知されていない	防災訓練は毎月実施しておりますが、個別支援という形態より全児童が参加しての避難訓練が実施されておらず、参加者が限られてしまっています。 マニュアル類では、特に安全計画について契約時での説明にとどまっている。	契約時の説明に加え、教室内掲示などの工夫を行っていく。防災訓練時もポスターを掲示するなどしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校第2				公表日		2025年 2月 15日			
		利用児童数				18		回収数		16	
		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応			
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	0	0	スペースが広く体を動かして活動することができるためとても喜んでいます。	特に意見はなかったが夕方は利用者も多いため、部屋割りについては同じ児童が個室にならないよう輪番制で部屋割りをしている。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	0	子供の様子や気になることなどどんなことを質問しても返答してもらっている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2	0	3	玄関先でいつも担当の先生が分かるのは良い。	自分の名札に自分で名前を書き、所属意識を高められる工夫をしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0	・いつもきれいで過ごしやすい。 ・活動内容によってパーテーションを使っている。	いつも来て也快適に過ごせるよう努めます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		一人ひとりに応じた支援が提供できるように努めます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1	0	5		今年度中に公表する予定をしています。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	0		モニタリングやアセスメントを行い計画を作成しています。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	2		特に家族支援においてはより力を入れ行っています。また、本人支援については子育てサポートを力を入れ、保護者様のサポートをしています。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1	0	0	親の意見も取り入れてもらったの支援計画を作って助かっている。	日々変わるニーズであってもお子様や保護者の方にしっかり向き合い、対応していきたい。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1	本人の希望に柔軟に対応してくださっている。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	1	4		交流自体はありません。お子様の情報共有という点で訪問することがあります			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	3	0	2	課題ごとの具体的な内容が知りたいです。	ガイドラインを使い、説明します。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	1	1	丁寧なFBをして下さり、話もしっかり耳を傾けて聞いてくださっている。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13	2	0	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0		毎回のFBを丁寧に行っております。FB以外にもご希望があれば相談の時間を作っております。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		傾聴、寄り添うことを大切にやること意識しております。			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	1	4		就学前の小集団では、数回ではあるが交流会や研修会（経験者に学ぼう）を実施しております。				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1	相談させてもらったことはいつもすぐに対応してくれたり、調べたりとしてくださったりと大変感謝しております。	引き続き、対応の整備に努めてまいります。利用者様がいつでも安心して相談できる体制作りに努めていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		鍵付き書庫等を用いて厳重な管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	3	0	3		掲示するなど周知・回覧できる環境を考えていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	1	6		月一回以上の訓練をしております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0		引き続き、安心して通所していただけるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0		具体的な意見はなかったが、「きらり」に行きたいと言ってもらえるような事業所であり続けたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	0	0	子供にも保護者にも寄り添ったサポートをして下さり本当にありがたいです。	利用者及び保護者の方に満足していただけるように努めたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校2				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援グッズ等は収納し、パーテーションを用いてお子様に合わせた環境になるよう工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・整理・整頓の徹底を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は1部屋しかないが、プレイルームをパーテーションで区切る、状況に応じて静養室の利用等も可能です。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に各指導員との業務上の目標設定と振り返りの機会、また校舎改善のための意見聴取を行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へのアンケートを実施し、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		校舎内で話しやすい環境を作るとともに、ソフトウェアを通じて上役にも連絡を取りやすいようになっております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			現在は、利用者・社内の二者評価をとっております。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが必要に応じて実施を検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		初任者研修を実施し、その後も全ての職員に対し継続的に(月1~2回程度)社内研修を行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		今年度中にHPにアップ予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにモニタリング・アセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は指導員の意見を確認しつつ原案を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画はソフトウェア上で共有されており、目標や計画に沿った支援を行うよう取り組んでいます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用しています。1年に1回アセスメントを取ることでより1年間の成長を評価しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		モニタリングやアセスメントをもとに、優先順位をつけ複数の項目を組み合わせ個別支援計画を策定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		基本的に個別支援であるため、支援計画に基づき、担当指導員を中心に立案させていただいております。小集団についてチームで内容を検討することもある。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援後のフィードバック時に保護者様の要望を確認したり、支援時の様子に合わせてより良いプログラムになるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育を柱に、不定期で集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日のスケジュールや動き確認は行っており、集団活動実施の際には事前の打ち合わせ、リハーサル等を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼は行っていませんが、朝礼にて職員間での情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録をとり、適時見直すことで、お子様の成長に合わせて指導内容や方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画期間（6ヵ月）ごとにモニタリングを通して面談を行い、達成度と課題を導き出し、新たな目標とともに個別支援計画を作成しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要な会議には日程等調整し、ご利用者様の担当指導員や児童発達支援管理責任者が参加をしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要な会議には日程等調整し、ご利用者様の担当指導員や児童発達支援管理責任者が参加をしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要性や保護者様からのご要望に応じて、関係諸機関との連携をとっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要性や保護者様からのご要望に応じて、関係諸機関との連携をとっています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		現在行っておりませんが、必要に応じてそうした機会を設けていきたいと考えております。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しく行えません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付けた上で実施いたします。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援後にフィードバックの時間を設け、保護者様と情報共有できる体制を整えています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		フィードバック時に日常でのサポートについてお話をさせていただいています。また当社内外にて実施している研修会や勉強会について情報提供を行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担等について、契約時にご説明しています。支援内容については、個別支援計画の提示時の説明に加え、毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に保護者様の現在のご要望を聞き取るようにしております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画は支援内容とねらいについて説明し、保護者の方から同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		室内提示スペースにて活動内容やイベントのご案内等を提示しています。またインスタなどでも公開しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		お子様・保護者様の状況に応じて、視覚的情報やデバイスなどを活用して、齟齬のないやり取りを心がけています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		オレンジジャンプ、小集団一般参加などを月1回行っております。	特に小学生以上を対象とした地域向けのイベント等は行っておりません。要望があれば、常時施設の見学や事業所の説明等の対応はしております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、定期的に研修や訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、上記通り定期的に研修や訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回面談時や契約時に全てのお子様に対して服薬の有無や病歴を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		当事業所では基本的に支援中の食事・おやつ の提供はしておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、事業所内で定期的に研修や訓練を行い、安全な環境下で支援に入っているよう取り組んでいます。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを策定、虐待防止委員会を設置して、研修を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		マニュアルを策定、身体拘束適正化委員会を設置して、研修を実施しています。身体拘束が必要となる場面が想定されるご利用者様については、保護者様とご相談の上、具体的内容を個別支援計画の特記事項に記載します（現在身体拘束が必要となるお子様はおりません）。		